

## 第1章

## 05

## Photoshopのブラシで墨絵風の線を描く

画材を揃え使いこなせるまでには、専門的な知識と技術が必要ですが、Photoshopのブラシには数多くの素材があるので、アナログ風の質感もリアルに再現できます。ここでは、墨絵風のオリジナルブラシの作り方を紹介します。

サンプル PART01 ▶ 05



- 既存の墨筆に近いブラシを選びカスタマイズして墨絵風のオリジナルブラシをつくる
- 硬さや不透明度を設定してより墨絵の雰囲気に近づける

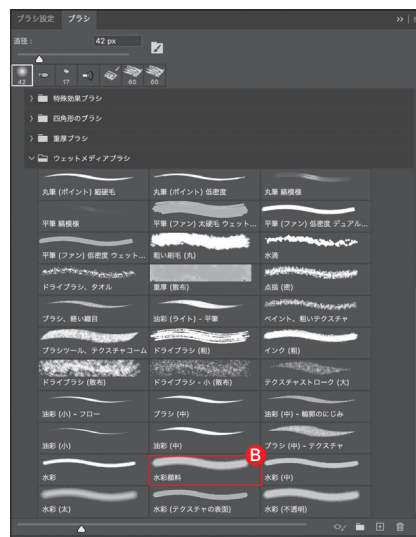
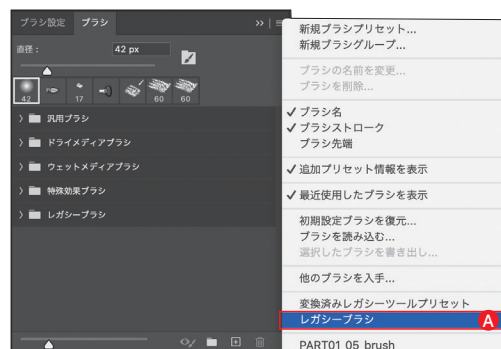
## 手順

## 01

## カスタマイズして、オリジナルのブラシをつくる



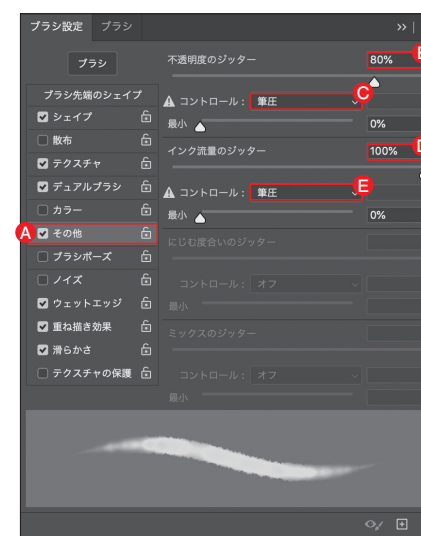
- 新規ドキュメントを作成し、[ブラシ] パネルを開き、ブラシの設定を変更してカスタマイズしてみましょう。パネルメニューから[レガシーブラシ] **A**を選択して読み込みます。その中にある[ウェットメディアブラシ]→[水彩顔料] **B**を選択します。



- [ブラシ設定] パネルを開き、詳細の設定をします。  
[ブラシ先端のシェイプ] **A**で、[直径]を「60px」**B**、[間隔]を「5%」**C**と設定します。

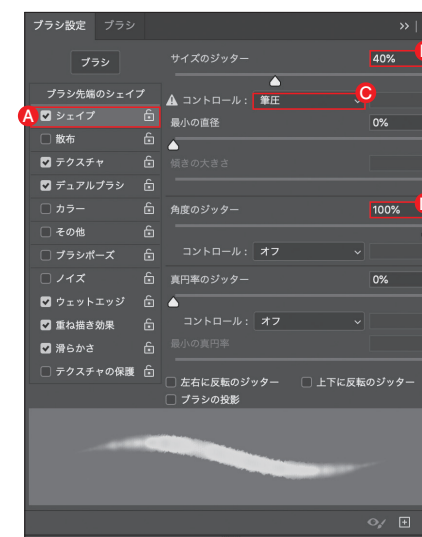


- [その他] にチェックを入れ、[その他]を選択します **A**。[不透明度のジッター]を「80%」**B**、[コントロール]を[筆圧] **C**、[インク流量のジッター]を「100%」**D**、[コントロール]を[筆圧] **E**と設定します。



[その他]のチェックを入れると、ブラシの両端のインク量が薄くなります。[コントロール:筆圧]に設定したので、ペンタブレットの筆圧によって感知します。

- [シェイプ] にチェックを入れ、[シェイプ]を選択します **A**。[サイズのジッター]を「40%」**B**、[コントロール]を[筆圧] **C**、[角度のジッター]を「100%」**D**と設定します。



[シェイプ] では、ブラシの大きさ・角度・形を変化させる設定ができます。[ジッター]の数値が大きいほどランダムな動きになります。

## 注目!

## 既存のブラシの紹介

水墨風の仕上がりになるブラシをいくつか紹介します。

[初期設定ブラシ]  
→ [墨筆]



[初期設定ブラシ]  
→ [粗い刷毛(丸)]



[ウェットメディアブラシ]  
→ [水彩(不透明)]



[ウェットメディアブラシ]  
→ [水彩(ウォッシュ)]



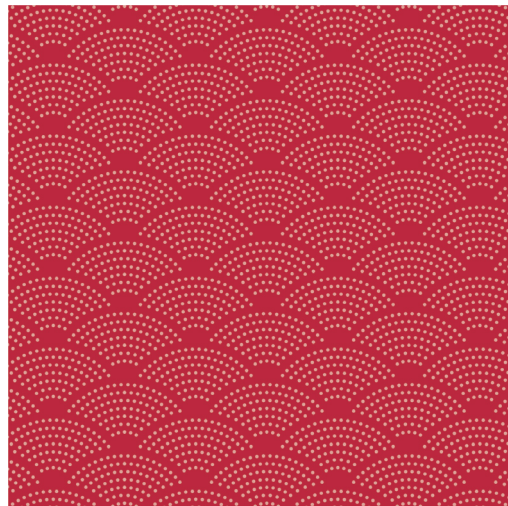
## 第2章

## 06

## 文様「鯨小紋」をつくる

鯨肌のように細かい点で円弧形を重ねた模様を表した小紋は、規則的に配置しているからこそ、上品な模様になります。均一に並べられた点も便利なツールを使って、簡単にシメトリな模様を描きます。

サンプル PART02 ▶ 06



- [同心円グリッドツール] で均一な間隔で円を描く
- 複雑な形をつくるときには [シェイプ形成ツール] を使って型を抜く

## 手順

## 01

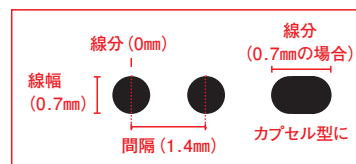
## ツールを使って円弧型の鯨小紋を描く

1 新規ドキュメントを作成します。[同心円グリッドツール]を選択してアートボード上でクリックします。表示されたダイアログボックスで、サイズを任意のサイズにA、[同心円の分割]→[線数]を「8」B、[円弧の分割]→[線数]を「0」Cに設定し、Dのチェックは外しておきます。均等幅の円が作成されますE。



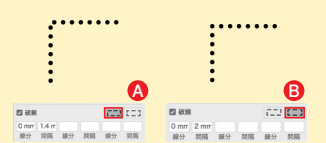
ここでは「サイズ」を幅・高さ「30mm」に設定しました。

2 [線パネル]で点線に設定します。ドットの点線の場合、[線端]を[丸型線端]Aに選択し、[線分]は「0mm」、[間隔]は[線幅]の2倍程の長さに設定しB、[コーナーやバス先端に破線の先端を整列]Cを選択します。



## 注目！ 角を揃える

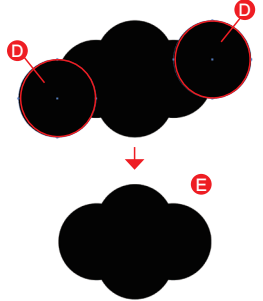
[線分と間隔の正確な長さを保持]Aにしている場合、角がずれてきれいに並ばないことがあります。[コーナーやバス先端に破線の先端を整列]Bを選択すると、自動で調整して破線の角を揃えてくれます。



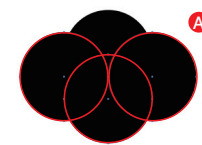
3 1と同じ直径の正円を描き、接するように横に複製しますA。ふたつの円を[オブジェクト]メニューから[変形]→[移動]で位置Bを設定し、コピーしますC。[command]+Dで[変形の繰り返し]を実行し、両端のDを削除しますE。



位置は、水平方向に円の半径の長さ「15mm」に、垂直方向はその1/2「7.5mm」に設定します。



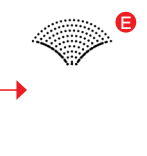
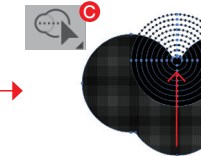
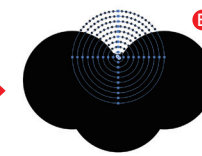
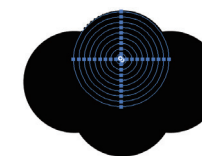
4 下の3つの円Aを選択し、[パスファインダー]パネルで[合体]します。[オブジェクト]メニューから[パス]→[パスのオフセット]を選択し、数値を設定しますB。オフセットをすると、パスが2重になるのでC、内側のパスDのみを選択し、[delete]キーで削除します。



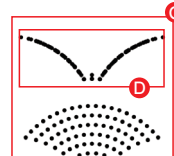
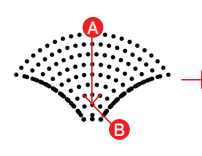
パスのオフセットは、選択したパスを基準に、設定した値の距離に新しくパスをつくる機能です。



5 2の円をAのように4のオブジェクトに中心が溝にはまるように重ねます。重っている黒い塗りの円は[delete]キーで削除しますB。すべてのオブジェクトを選択し、[シェイプ形成ツール]Cで[option]を押しながら、黒の塗り色をなぞるようにドラッグするとD、重なった塗りのが削除されますE。



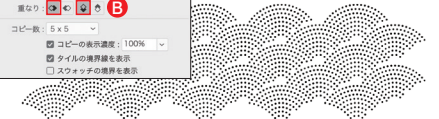
6 [オブジェクト]メニューから[パス]→[パスのアウトライン]を選択し、[command]+[shift]+Gを2回繰り返し、[グループ解除]します。[選択ツール]でAの起点からBまでをドラッグして選択し、移動するとCのようにパーツを分けることができます。Dは不要なので、[delete]キーで削除します。



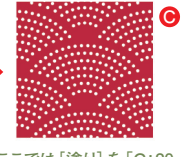
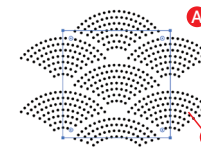
7 6を[スウォッチパネル]にドラッグ&ドロップしパターンを作成し、追加されたパターンをダブルクリックして[パターンオプション]を設定しますA。プレビューで確認しながらきれいに重なるように調整しましょう。



[タイルの種類]を[レンガ(横)]、[レンガオフセット]を[1/2]に選択し、幅は円の直径「30mm」、高さは約1/4くらい「7.5mm」を目安に設定します。[重なり]はBを選択します。



8 [スウォッチパネル]に登録された7のパターンを選択し、アートボードにドラッグ&ドロップすると、Aが配置されます。鯨小紋のオブジェクトのみBを白色に設定し、[透明]パネルで[不透明度]を「60%」に設定します。背面に配置されている長方形を選択し[command]+Cで[コピー]し、[command]+Fで[前面へペースト]して、塗り色を任意の色で設定しますC。すべてのオブジェクトを選択し、再び[スウォッチ]パネルへドラッグ&ドロップしてパターンに登録します。



ここでは[塗り]を「C:20、M:100、Y:80、K:0」のエンジ色に設定しました。



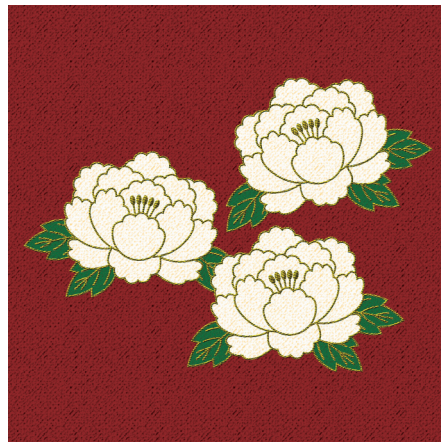
## 第2章

## 16

ぼたん  
『牡丹』を描く

花びらが大きな牡丹は、幸福、高貴、豪華さを表し、おめでたい花として描かれ、着物では訪問着や振り袖などに用いられています。  
ここでは、反転や回転をしながら、花びらを重ねるようにシンメトリーの花をつくります。

サンプル PART02 ▶ 16



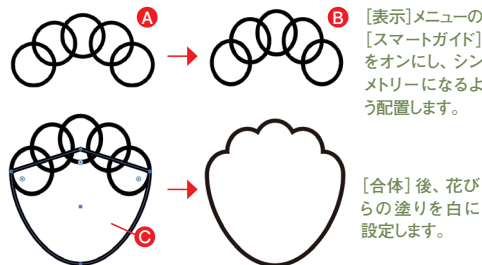
- 基本となる花びらを作成し、変形と反転をさせながら花の形を作る
- Photoshopのレイヤースタイルで刺繍のような加工を施す

## 手順

## 01

## オブジェクトを重ねて花びらを描く

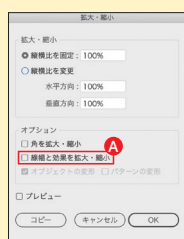
- 1 新規ドキュメントを作成します。正円を5つ(A)のように並べ、幅のみ「90%」縮小します(B)。Cのような形を重ね、すべて選択して[パスファインダー]パネルの[合体]でひとつに繋がります。



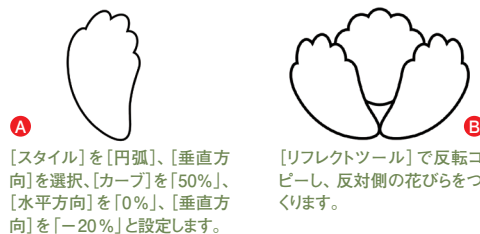
## 注目!

線幅を変えずに  
拡大・縮小する

[拡大・縮小ツール]でキャンバスをクリックし、[線幅と効果を拡大・縮小]のチェックを外します(A)。



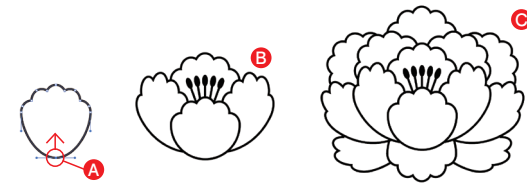
- 2 1を複製し、[オブジェクト]メニューから[エンベロープ]→[ワープで作成]を選択します(A)の設定で実行します。[オブジェクト]メニューから[分割・拡張]を選択し、表示されたダイアログボックスで[オブジェクト]と[塗り]にチェックが入った状態で実行します。「70%」に縮小し、「30°」回転させます。反転コピーしたオブジェクトと1の上に配置します(B)。



- 3 楕円と直線で(A)の形をつくり、グループ化します。回転しながら複製を繰り返し、5つにしたら2に重ねます(B)。

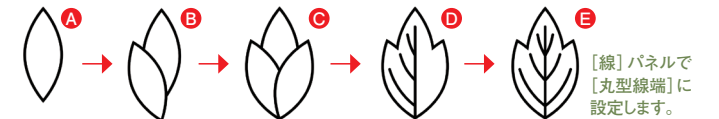


- 4 1を複製し、[ダイレクト選択ツール]で(A)のアンカーポイントを上に動かし、3の最前面に重ねます(B)。1と2の花びらを、複製し回転させながら増やします。左半分をつくり、まとめて複製して反転させ、右半分をつくり(B)。



花びらを重ねる際、[command]+[shift]+[↑]で最背面に移動できます。本物の花の構成のように重なり順に意識して配置します。

- 5 葉の形をつくり(A)。複製して「90%」縮小したものを回転して重ね(B)、これを複製して反転させます(C)。すべて選択して[パスファインダー]パネルの[合体]でひとつに繋がります。葉脈をパスで描きます。左半分(D)を複製して反転させ(E)、花と組み合わせます。



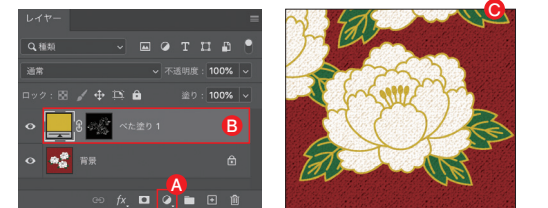
[線]パネルで[丸型線端]に設定します。

## 手順

## 02

## 布地に刺繍したような加工を施す

- 1 加工前のサンプルファイル「PART02\_16\_sozai2.jpg」を開きます。[自動選択ツール]を選択し、オプションバーで[許容値]を「50」に設定して、「背景」レイヤーの牡丹のおしべの黒い線部分を一箇所クリックして選択し、[shift]キーを押しながらすべて花の黒色部分を選択します。の選択範囲を作成し、[レイヤー]パネル下にある[塗りつぶすまたは調整レイヤー]を新規作成アイコン(A)から[べた塗り]を選択し、[R]を「220」、[G]を「190」、[B]を「0」で調整レイヤー(B)を追加します(C)。

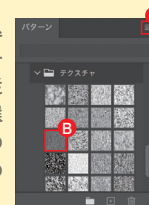


- 2 「べた塗り 1」レイヤーを選択し、[レイヤー]パネル下の[レイヤースタイルを追加]から[ベベルとエンボス]を選択し、表示されたダイアログボックスで(A)のように設定します。続いて[パターンオーバーレイ]にチェックを入れ、(B)のように設定し、刺繍のような効果をつけます。

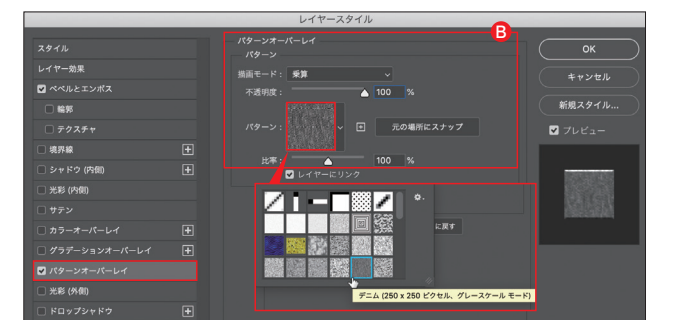
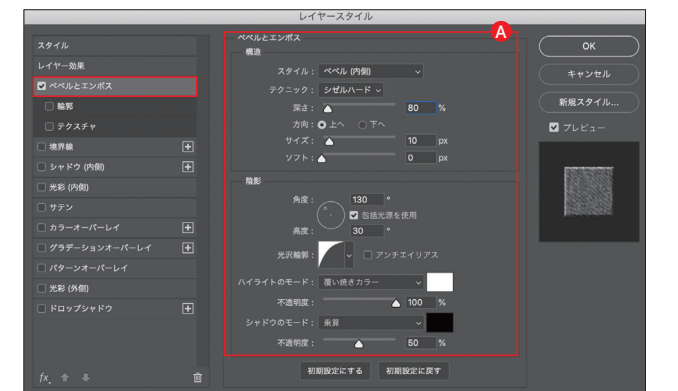
## 注目!

## [パターン]で[デニム]がない場合

[パターン]パネルで読み込む必要があります。[パターン]パネルメニュー(A)から[従来のパターンとその他]を選択すると追加され、[従来のパターン]→[テクスチャ]の中に入っています(B)。



- 3 [ファイル]メニューから[埋め込みを配置]を選択し、サンプルファイル「PART02\_16\_sozai3.jpg」を配置します。[描画モード]を[乗算]に設定し、牡丹に布地の質感を加えます。



## 第2章

## 19

みずひき

## 『水引』を描く

何本もの紐でむすばれた水引を、均等の幅で線を描くのは大変ですが、[ブレンドツール]で作成したオブジェクトでオリジナルブラシを登録するつくり方を紹介します。ひとつひとつオブジェクトをつなぎ合わせるよりも、ブラシ登録をすれば作業の時間が短縮されます。

サンプル PART02 ▶ 19



- [ブレンドツール] で均等の幅のラインをつくる
- 線の重なりは [アピアランスパネル] で背面に線色を重ねる
- [効果] で手描き風の質感を施す
- ペースとなるオブジェクトをつくりブラシ登録する

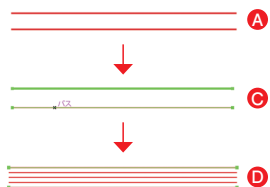
## 手順

## 01

## 水引のラインをブラシに登録する



1 新規ドキュメントを作成します。[直線ツール]で2本の赤色の線を描きますA。[ブレンドツール]をダブルクリックし、ダイアログボックスが表示されたら、[間隔]を[ステップ数]にして「3」と設定しますB。線をひとつずつクリックすればC、中間に3本の線が追加されますD。サンプルファイル「PART02\_19\_sozai1.ai」を使用しても構いません。



2 1を[ブラシパネル]へドラッグしてブラシの登録をしますA。ダイアログボックスが表示されたら、[アートブラシ]Bを選択します。続いてダイアログボックスでCのように設定すると、[ブラシパネル]に追加されますD。同様に線色を金に変更したブラシも「水引 5本金」の名前で登録します。

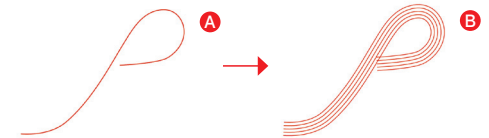


[ブラシ伸縮オプション]は[ストロークの長さに合わせて伸縮]を選択します。ブラシの名前を「水引 5本」とします。

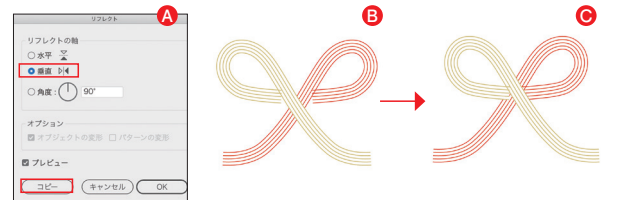
## 注目！ 水引の本数って？

慶事には、3本・5本・7本・10本と種類がありますが、一般的には5本です。3本は簡単結び、7本は5本の丁寧結び、10本は基本の5本を二重にした結びで「贈る側と贈られる側の手が握り合う形を表す」として婚礼関係に用いられます。

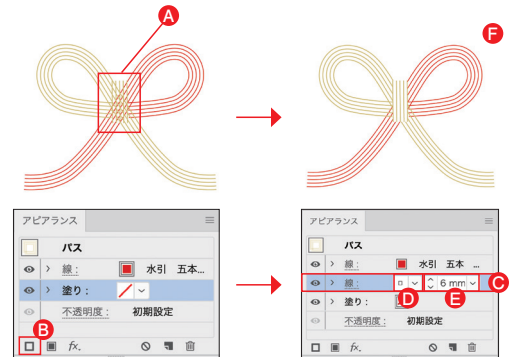
3 [ペンツール]または[ブラシツール]でAのようなリボンの片側を描きます。ブラシの種類を登録した「水引 5本」のブラシを選択しますB。



4 [リフレクトツール]をダブルクリックし、表示されたダイアログボックスで[垂直]を選択したら[コピー]をクリックしますA。複製したオブジェクトを登録した「水引 5本金」のブラシを選択しますB。ふたつのオブジェクトの切れ端が重なる場所にオブジェクトを動かしますC。

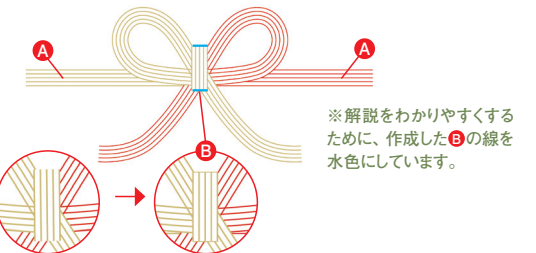


5 [直線ツール]で結び目の垂直線を描きますA。[アピアランスパネル]の左下にある[新規線を追加]Bをクリックし、レイヤーの順を線と塗りの間にしますC。Dから白色に変更し、Eで線幅を変更します。線同士が重なっているのが、背景の白色で見えなくなりますF。同様に、リボンのオブジェクトも[アピアランスパネル]で白色の線を作成します。



線幅は、登録した5本線のブラシの幅くらいに設定します。

6 [直線ツール]で水平線を最背面に描きますA。右側は「水引 5本」、左側は「水引 5本金」のブラシで描きます。結び目部分に、線色を金色で、線幅を細めに設定して水平線を描きますB。



※解説をわかりやすくするために、作成したBの線を水色にしています。

## 注目！ 水引の結び方の種類

水引の結び方の種類は、目的によって使い分けられ、それぞれに意味を持ちます。

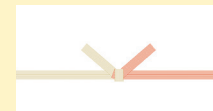
## 花結び



結び目が簡単に解け何度も結び直せるとの意味合いから、何度も繰り返したいとの願いを込めて、結婚以外のおめでたい時に用いられます。

【行事】出産、就職、ご挨拶、お中元やお歳暮など

## 結切り



一度結んだらなかなかほどけない結びとの意味合いから、何度も繰り返したくないことに用いられます。

【行事】結婚、弔事、傷病のお見舞い、災害見舞いなど

## あわじ結び



結び切りに比べるとより複雑な結び方がされていることから、「末永く続くように」といった意味が込められています。

【行事】結婚祝いなどの一度きりの祝いなど



## 第2章

## 20

つるかめもん  
『鶴亀文』を描く

「鶴は千年、亀は万年」という言葉があるように、長寿を象徴とし、お正月からお祝い事など、縁起の良い絵柄として用いられます。一見複雑そうな絵柄ですが、単純な図形を「エンベロープ」機能を使って、簡単に滑らかな曲線を描きます。

サンプル PART02 ▶ 20



- 「エンベロープ」機能を使って図形を変形させる
- 模様や顔は「パスファインダー」で型抜きをするように作る

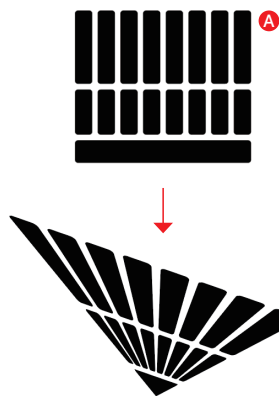
## 手順

## 01

## ベースとなる鶴の形をつくる



- 1 新規オブジェクトを作成します。Aのように角丸の長方形を作成して並べ、[オブジェクト]メニューから[エンベロープ]→[ワープで作成]を選択し、Bの設定で実行します。



B [スタイル]を[円弧]、[カーブ]を「0%」、[水平方向]を選択、[「-40%」、[垂直方向]を「-100%」と設定します。

## 注目！ オブジェクトを等間隔に並べる

[整列]パネルの[等間隔に分布]機能でオブジェクトの間隔を均等にできます。間隔の数値を指定するには、キーオブジェクトを設定します。



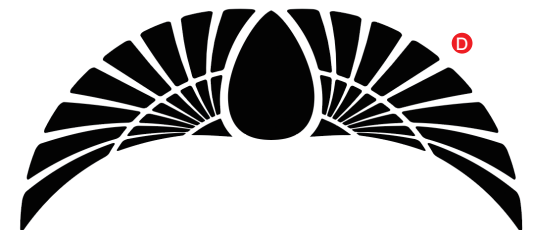
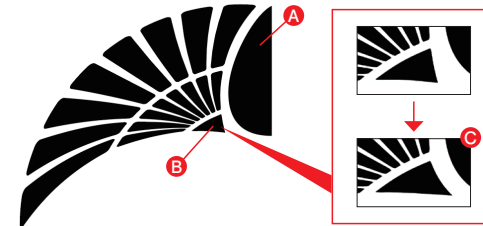
等間隔に分布させたいオブジェクトをすべて選択し、Aをクリックしてキーオブジェクトにします。[整列]パネルで間隔の値を入力しB、[水平方向等間隔に分布]のアイコンCをクリックします。

- 2 Iをさらに変形させます。[オブジェクト]メニューから[分割・拡張]を選択し、表示されたダイアログボックスで[オブジェクト]と[塗り]にチェックが入った状態で実行します。再び[オブジェクト]メニュー→[エンベロープ]→[ワープで作成]を選択して、表示されたダイアログボックスでAの設定で実行します。これを再度[分割・拡張]し、「60°」回転させます。



[エンベロープ]を適用後、再び別のエンベロープを適用する場合は必ず「分割・拡張」をしましょう。

- 3 胴体をつくります。翼の横にAを描き、翼の付け根部分BをAに沿う形になるように[ダイレクト選択ツール]でアンカーポイントを調整しますC。[リフレクトツール]で反転コピーしますD。



- 4 首は[ペンツール]で描きますA。[オブジェクト]メニューから[パス]→[パスのアウトライン]を選択し、頭の部分はアンカーポイントを動かして形をつくりますB。

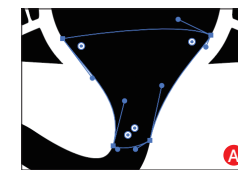


[線]パネルで[丸型線端]に設定します。



頭になる部分を膨らませるように変形させます。

- 5 胴体と首の付け根がスムーズにつながるように[ペンツール]でパスを作成しますA。胴体、首と合わせて選択し、[パスファインダー]パネルの[合体]でひとつに繋げます。

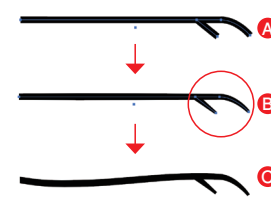


- 6 尾はAのように角丸の長方形を並べ、[オブジェクト]メニューから[エンベロープ]→[ワープで作成]を選択し、Bの設定で実行します。

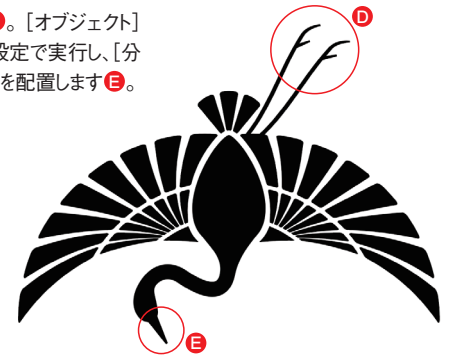


B [スタイル]を[アーチ]、[水平方向]を選択、[カーブ]を「50%」、[水平方向]を「0%」、[垂直方向]を「-60%」と設定します。

- 7 足はAのようなパスを描き、[線幅ツール]で先端を細くしますB。[オブジェクト]メニュー→[エンベロープ]→[ワープで作成]を選択してCの設定で実行し、[分割・拡張]します。ふたつ複製して配置しD、くちばしは三角形を配置しますE。



C [スタイル]を[旗]、[水平方向]を選択、[カーブ]を「30%」、[水平方向]を「0%」、[垂直方向]を「0%」と設定します。



## 第3章

## 01

## 毛筆風ブラシで描く年賀状デザイン

手描きの筆跡をスキャンし、ブラシに登録してデザインをつくります。水墨画の素材をIllustratorで描いたイラストに、マスクで合成し、力強いデザインに仕上げます。また、打ち込んだテキストに墨のにじんだ質感を再現し、よりリアルさを追求します。

サンプル PART03 ▶ 01



## 要点

- スキャンした手描きの筆跡をブラシに登録する
- [透明パネル] を使ってマスクでテクスチャを合成する
- 既存フォントで打ち込んだテキストをブラシでにじみを描いて、墨で描いたように仕上げる

## 手順

## 01

## スキャンした画像をオリジナルブラシに登録する

PS

AI

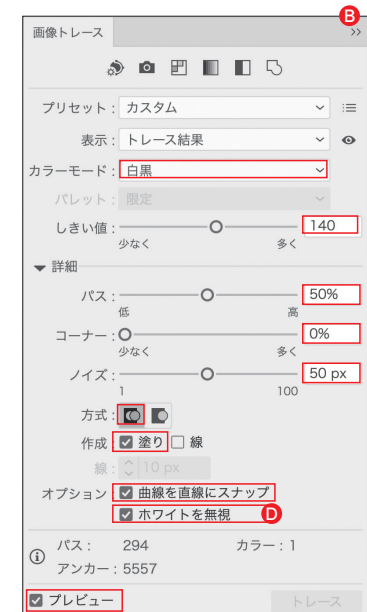
- 1 葉書サイズ (H148mm×W100mm) で新規ドキュメントを作成します。[ファイル]メニューから[配置]を選択し、サンプルファイル「PART03\_01\_soza1.jpg」**A**を配置します。実際にご自身で毛筆で書いたものをスキャンし使用しても構いません。[画像トレース]パネルを開き、**B**のように設定します。すると画像が**C**のようにイラスト化されます。



## 注目！

## 【ホワイトに無視】のチェックを忘れずに

[画像トレース] パネルの [オプション] にある [ホワイトを無視] **D** をチェックすると、白い背景を透明にできます。チェックを外すと、トレースしたときに白と黒の両方のオブジェクトがパス化されてしまいます。



[しきい値] の値を少なくすると、明るいピクセルは白に、多くすると、暗いピクセルはすべて黒に変換されます。

[パス] は、値を大きくすると高精度に。

[プレビュー] にチェックを入れ、画像を確認しながら設定しましょう。[プレビュー] にチェックが入っている場合は、右下の [トレース] ボタンは右画のように非表示になり押せません。

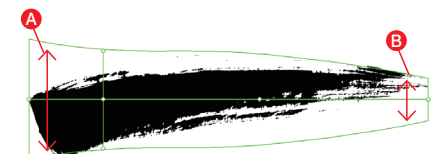
- 2 このままでは編集ができないため、[コントロール] パネルの [拡張] **A** をクリックします。



- 3 2を[ブラシ]パネルヘドラッグ&ドロップしてブラシの登録をします。ダイアログボックスが表示されたら、[アートブラシ]を選択して[OK]ボタンをクリックします。続いて表示されたダイアログボックスで**A**のように設定し、任意の名前をつけ[OK]ボタンをクリックすると、[ブラシ]パネルに追加されます。名前は「毛筆ブラシ」とします。



- 4 [直線ツール]で1のブラシくらいの長さで直線を描き、登録した3のブラシを選択します。このオブジェクトを[線幅ツール]を使って、書き始めを太く**A**、書き終わりは細く調整します**B**。



太くしたい箇所を外側に広げます。

- 5 4を[ブラシ]パネルヘドラッグ&ドロップしてブラシの登録をします。3同様に設定し、名前は「毛筆ブラシ2」とします。



## 第3章

## 03

## やわらかな水彩画風のフライヤーデザイン

水彩素材をあしらひ、やわらかな雰囲気的设计に仕上げます。  
イラストにテクスチャを重ねるだけでなく、Photoshopのフィルターを駆使して、  
色の濃淡や絵の具だまりのような、よりリアルな手描きの質感を再現します。

サンプル PART03 ▶ 03



## 要点

- フィルターを重ねて水彩画のようなにじみを再現する
- 水彩のテクスチャを加えて質感を出す

## 手順

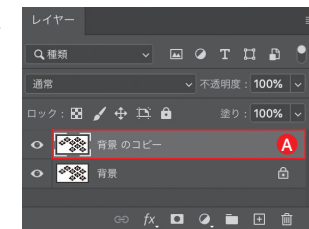
## 01

## ベタ塗りのイラストを水彩画風に加工作る

PS

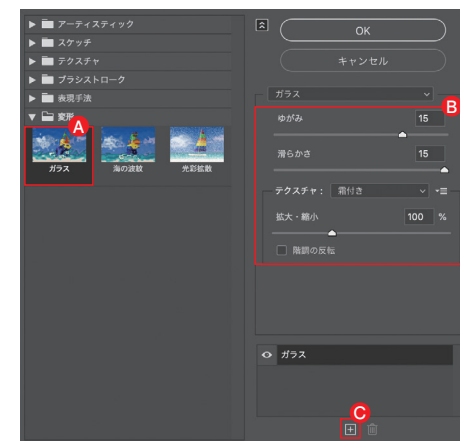
AI

- 文様のイラスト「PART03\_03\_sozai1.jpg」をPhotoshopで開き、[レイヤー] パネルメニューから[レイヤーを複製]を選択してコピーを作成します。ツールバーの[描画色と背景色を初期設定に戻す]アイコンBをクリックします。



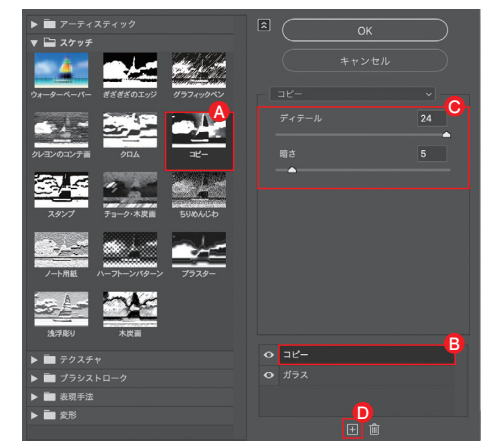
描画色と背景色が  
フィルターの効果  
に反映されます。

- [フィルター] メニューから[フィルターギャラリー]を開きます。[変形] → [ガラス] Aを選択して、Bの設定にし、[新しいエフェクトレイヤー] アイコンCをクリックします。



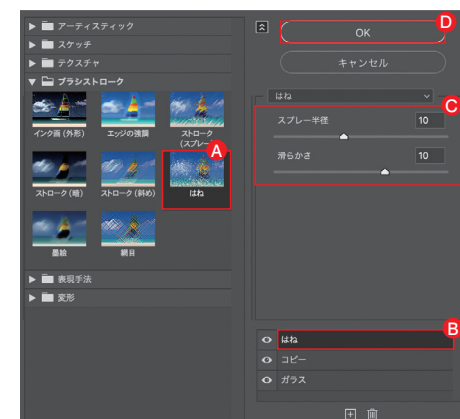
[ゆがみ]を「15」、[滑らかさ]を「15」、[テクスチャ]を[霜付き]、[拡大・縮小]を「100」と設定し、ゆがませます。

- 続けて、追加されたエフェクトレイヤーを[スケッチ] → [コピー] Aに変更し、B、Cの設定にします。再度[新しいエフェクトレイヤー] アイコンDをクリックします。

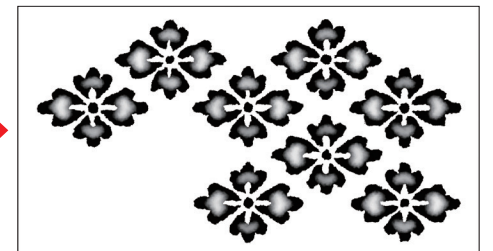


[ディテール]を「24」、[暗さ]を「5」と設定し、エッジを残して塗り色を薄めます。

- 一番上のエフェクトレイヤーを[ブラシストローク] → [はね] Aに変更し、B、Cの設定にして[OK] Dを押します。



[スプレー半径]を「10」、[滑らかさ]を「10」と設定し、全体をにじませます。



## 注目! フィルターをかける画像のポイント

加工する画像の背景が透過していると、フィルターのかかり方が変わってしまいます。その場合はイラストの背面に白いレイヤーを作成して結合させ、白い背景がある状態にしてからフィルターをかけましょう。



背景透過の画像に同じ設定でフィルターをかけるとこのようになります。

## 第3章

## 06

## シンメトリーに設計された箔押し風デザイン

シンメトリーの調和のとれた安定感のある構図は、美しく縁起が良いとされる形として、寺院や彫刻などに多く使われてきました。シンメトリーのデザインは、少しでも左右対称になっていないとバランスが崩れてしまいます。レイアウトを進めるポイントを押さえて、安定感のあるデザインをつくってみましょう。

サンプル PART01 ▶ 06



## 要点

- [リフレクトツール] で中心点に合わせて、反転複製してシンメトリーのパーツを描く
- [レイヤースタイル] で箔押し風の加工を施す

## 手順

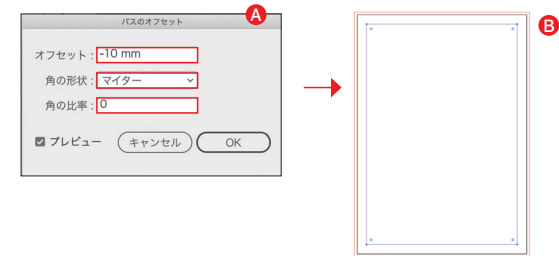
## 01

## ガイドを作成する

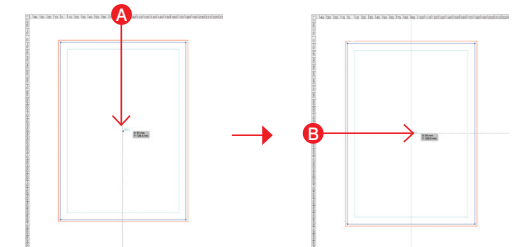
PS

AI

- 新規ドキュメントをB5縦サイズで作成します。[長方形ツール] でアートボードと同じ大きさの長方形を描き、[塗り]、[線]の色をなしにします。[オブジェクト]メニューから[パス]→[パスのオフセット]でAのように[オフセット]を「-10mm」、[角の形状]を[マイター]、[角の比率]を「0」と設定すると、アートボードのサイズより左右上下10mm小さい長方形が作成されますB。すべてのオブジェクトを選択して、[表示]メニューから[ガイド]→[ガイドを作成]を選択します。



- アートボードの縦横中心にガイドを作成します。[command]+[R]で[定規を表示]し、P.050の「注目!」のようにオブジェクトの中心を表示させます。Iで作成したアートボードと同じ大きさの長方形を選択し、まずAの定規の位置から下にアートボードの[中心]と表示されるところまでドラッグ&ドロップします。次に、Bの定規の位置から右にアートボードの中心付近までドラッグして[中心]と表示されるところでドロップします。アートボードと同じ大きさの長方形は[delete]キーを押して削除します。



定規の位置から[中心]と表示されるところまで、ドラッグ&ドロップします。ここでは、水色のラインが、ガイド線です。

## 手順

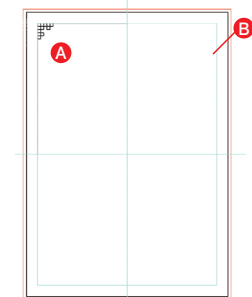
## 02

## シンメトリーのイラストを作成する

PS

AI

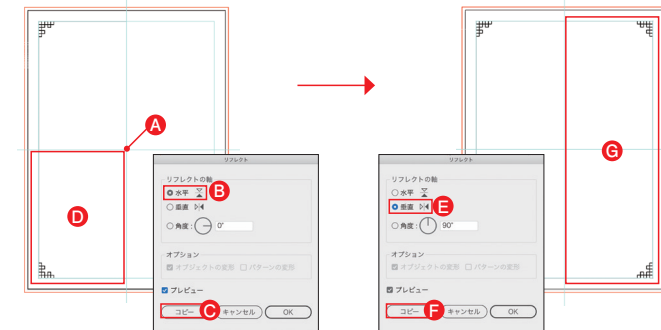
- 外枠を描きます。サンプルファイル「PART03\_06\_sozai 1.ai」を開き、Aのオブジェクトを手順01の1の水色のガイド線Bに沿って、左角に配置します。



## 注目! [スマートガイド] にチェックを入れる

[表示]メニューから[スマートガイド]にチェックを入れておくと、オブジェクトがガイドにスナップしてくれたり、中心位置に[リフレクトツール]のカーソルをもっていくと、中心位置がガイドされます。

- [リフレクトツール]を選択し、手順01の2のガイドの交差点Aを[option]キー+クリックします。表示されたダイアログボックスでは[水平]Bを選択し、[コピー]Cをクリックし、実行します。下側に反転されますD。すべてのオブジェクトを選択し、同様に[リフレクトツール]で手順01の2のガイドの交差点Aを[option]キー+クリックし、表示されたダイアログボックスで[垂直]Eを選択し、[コピー]をクリックしF、実行し、右側に反転しますG。





## 第4章

## 01

## ぬくもりを感じさせる和紙風の背景デザイン

背景全面に質感のある和紙を敷くことで、温かみ、ぬくもりを感じさせるデザインに仕上げるすることができます。フィルターでいちから和紙のテクスチャをつくり、カスタマイズしたブラシで繊維の質感を再現します。

さらに、かすれたイラストを背景にあしらい、和の雰囲気を強調させます。

サンプル PART04 ▶ 01



温泉 | お部屋 | お食事 | 施設案内 | アクセス | ご宿泊プラン | お問い合わせ



ゆったりとした空間の和室

客室詳細&gt;



彩り豊かなこだわりの会席

お品書き&gt;

天然温泉 泉の宿 | ご予約・お問い合わせ 0123-45-6789

## 要点

- [フィルター] 機能で和紙のテクスチャをいちからつくる
- チャンネルを使って写真を切り抜き、イラスト風に加工作る
- レイヤーマスクにフィルターをかけ、エッジを変形させて、ちぎった紙のような質感にする

## 手順

## 01

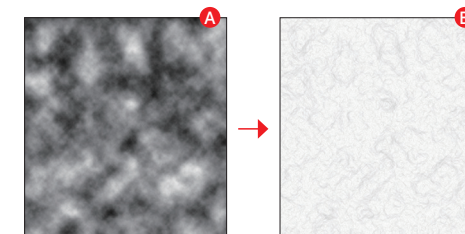
## 背景に敷く和紙のベースをつくる



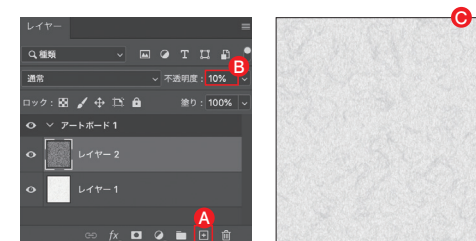
- Photoshopの[ファイル]メニューから[新規]を開き、[Web] **A**を選択し、**B**の設定で新規ドキュメントを作成します。ツールバーの[描画色と背景色を初期設定に戻す]アイコン **C**をクリックします。



- 「レイヤー 1」を選択した状態で、[フィルター]メニューから[描画]→[雲模様 1]を選択します **A**。続いて[フィルター]メニューから[表現手法]→[輪郭検出]を選択します **B**。



- [レイヤー] パネル下の[新規レイヤーを作成]アイコン **A**をクリックします。[フィルター]メニューから[描画]→[ファイバー]を選択し、[変化]を[64]、[強さ]を[4]で実行します。続いて[フィルター]メニューから[ぼかし]→[ぼかし(ガウス)]を選択し、[半径]を[1.0] pixelで実行し、ぼかします。「レイヤー 2」の[不透明度]を[10]% **B**に設定します **C**。



- 「レイヤー 2」に対して[レイヤー] パネル下の[塗りつぶすまたは調整レイヤーを新規作成]→[色相・彩度]を選択し、**A**の設定で水色にします。



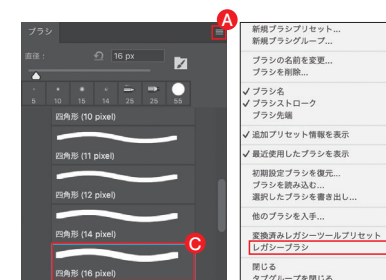
## 手順

## 02

## 紙の繊維が混ざった“カス紙”を再現する



- [新規レイヤーを作成]し(「レイヤー 3」となります)、[ブラシツール]を選択します。[ブラシ]パネルを開き、パネルメニュー **A**から[レガシーブラシ] **B**を選択します。パネルに追加された中から[レガシーブラシ]→[四角形のブラシ]→[四角形 (16 pixel)] **C**を選択します。





## 第4章

## 06

## 新春の煌びやかさを演出したバナーデザイン

グラデーションは同じ方向、色味などをきっちりと合わせないと、不自然さが生じて全体の統一感に影響します。ひとつずつ設定するのは、面倒で時間を費やす作業ですが、[レイヤースタイル] をコピー＆ペーストして簡単に同じ設定にすることが可能です。

サンプル PART04 ▶ 06



- ノイズを [描画モード] で合成する
- 一度設定した [レイヤースタイル] はコピー＆ペーストして他のレイヤーも同じ設定に

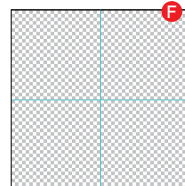
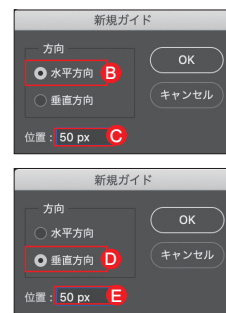
## 手順

## 01

## 市松模様のパターンを作成する

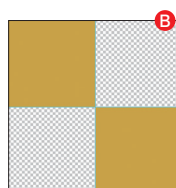


- Photoshopの[ファイル]メニューから[新規]を開き、[Web]を選択し、Aの設定で新規ドキュメントを作成します。[表示]メニューから[新規ガイド]を選択し、ガイドを作成します。まず、[方向]を[水平方向]B、[位置]を「50px」Cにして[OK]で実行します。再び、[表示]メニュー→[新規ガイド]→[方向]を[垂直方向]D、[位置]を「50px」Eで実行しますF。



アートボードのサイズが「100px」なので、半分のサイズ「50px」の位置にガイドを作成します。

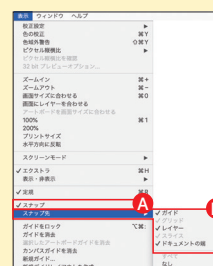
- [長方形ツール]を選択し、[ツールモード]を[シェイプ]、[塗り]を任意の色に設定しますA。ドラッグして、Bのように正方形をふたつ作成します。



## 注目!

## オブジェクトをガイドにぴったり合わせるには

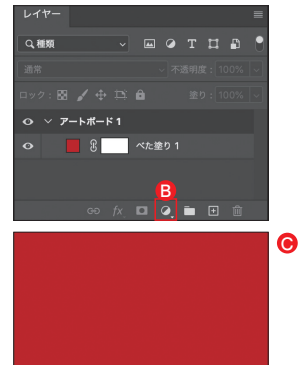
[表示]メニューから[スナップ]Aと[スナップ先]の項目すべてBのチェックを入れます。



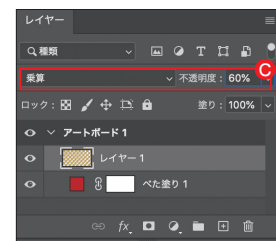
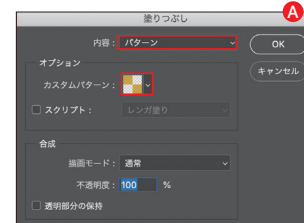
- [編集]メニューから[パターンを定義]を選択し、パターン名を「市松」と入力して登録しますA。



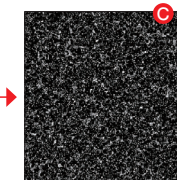
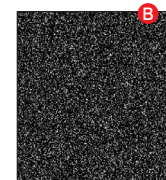
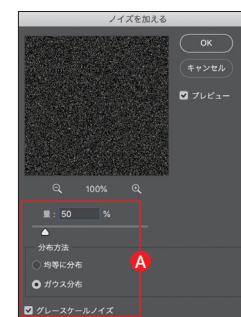
- Photoshopの[ファイル]メニューから[新規]を開き、[Web]を選択し、Aの設定で新規ドキュメントを作成します。[レイヤー]パネルの[塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成]アイコンBから[べた塗り]で全面背景を塗りつぶしますC。ここでは「#c80000」の赤色に設定しました。



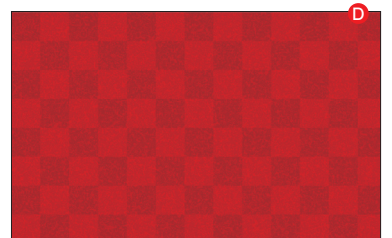
- [新規レイヤーを作成]し、[編集]メニューから[塗りつぶし]を開き[内容]を[パターン]、[カスタムパターン]を3で登録したパターンを選択してA、パターンで塗りつぶしますB。このレイヤーの[描画モード]を[乗算]、[不透明度]を「60%」に設定しますC。



- [新規レイヤーを作成]し、[編集]メニューから[塗りつぶし]→[内容]を[ブラック]、[描画モード]を[通常]、[不透明度]を「100%」で全面黒く塗り潰します。[フィルター]メニュー→[ノイズ]→[ノイズを加える]で、Aのように設定しますB。続いて[フィルター]メニュー→[表現手法]→[輪郭検出]を実行しますC。レイヤーの[描画モード]を[覆い焼きカラー]に変更し、[不透明度]を「40%」に下げますD。



[輪郭検出]を実行します。



[量]を「50%」の[分布方法]を[ガウス分布]、[グレースケールノイズ]にチェックを入れて設定します。